

# 令和元年度温州みかん果実の病虫害発生状況調査結果

長崎県病虫害防除所

## 1 調査の目的

温州みかんの収穫果実の病虫害被害状況を調査し、当年の病虫害発生状況を的確に把握することで、防除暦作成や防除指導の参考にする。

## 2 調査方法

### (1) 対象産地

諫早市多良見、西海市西彼、大村市、雲仙市瑞穂、佐世保市

### (2) 対象農家

各産地の防除暦に準じた防除を行っている生産者1地区3名を選定した。

### (3) 調査対象品種

各産地の主要な品種（原口早生、させぼ温州等）

### (4) 調査時期

令和元年11月19、21、22日

### (5) 調査項目

そうか病、かいよう病、黒点病（前期型、後期型）、灰色かび病、すす病、ヤノネカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、アカマルカイガラムシ、訪花性害虫、チャノキイロアザミウマ（果梗部、果頂部）、ハナアザミウマ類、サビダニ、ミカンハダニ、カメムシ類、風ずれ、その他

### (6) 調査方法

1生産者あたり200個の果実を任意に抽出して病虫害の被害状況を肉眼により観察した。ただし、調査対象は家庭選果前の果実とした。調査は被害程度別に行い、調査項目ごとに被害果率、被害度を算出した。

## 3 調査結果及び考察

### (1) かいよう病

被害果の発生を認めなかった。伝染源となる発病葉が少なかったことが要因として考えられた。

### (2) そうか病

被害果の発生を認めなかった。要因として主な感染時期である4月上旬の降水量が概ね平年並か少なかったことと、各産地で発芽期以降の防除が徹底されていたためと考えられた。

### (3) 黒点病

前期型病斑、後期型病斑ともに平年に比べ多い発生であった。前期型病斑の発生が多かった要因として、梅雨入り（6月26日頃）は遅かったが7月のはじめから下旬の前半までは梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く降水量は概ね多かったことと、降雨状況に応じて実施すべき薬剤散布が不足していた園地が多かったものと考えられた。後期型病斑の発生が多かった要因として、8月中旬～下旬に降水量が概ねかなり多かったことと8月中旬以降の降雨状況に応じて実施すべき薬剤散布が不足していた園地が多かったものと考えられた。

### (4) 灰色かび病

平年に比べやや多い発生であった。

(5) すず病

平年に比べ多い発生であった。

(6) チャノキイロアザミウマ

果梗部の被害は平年に比べやや多く、果頂部の被害は平年並の発生であった。果梗部の被害果がやや多かった要因として4～6月の降水量が概ね少ない～かなり少ないで経過したことが本虫の発生を助長したものと考えられた。

(7) ミカンハダニ

被害果率の県平均は平年と比べやや多かったが、発生に地域差がみられた。病害虫防除所による巡回調査では7月以降、平年に比べやや小～少で経過したが、生産者によっては薬剤防除が不十分のため果実への加害が多かったと考えられた。

(8) カイガラムシ類 (アカマルカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、ヤノネカイガラムシ)

アカマルカイガラムシは平年と比べやや多かった。ナシマルカイガラムシおよびヤノネカイガラムシは認めなかった。

(9) ハナアザミウマ類

平年に比べ少ない発生であった。

(10) 訪花性害虫

平年並の発生であった。

(11) サビダニ

被害果の発生を認めなかった。

(12) カメムシ類

被害果の発生を認めなかった。

表 令和元年度温州みかん果実の病害虫発生状況調査結果

地区名	調査項目	かいよう病	そうか病	黒点病		灰色かび病	すず病	チャノキイロアザミウマ		ハナアザミウマ	ミカンハダニ	アカマルカイガラムシ	ナシマルカイガラムシ	ヤノネカイガラムシ	訪花性害虫	サビダニ	カメムシ類	風ずれ	葉害	その他	
				前期	後期			果梗	果頂												
諫早市 (多良見)	被害果率(%)	0	0	51.3	43.5	13.2	0.2	7.8	2.3	0	10.5	15.5	0	0	0	0	0	46.8	0	1.0	
	被害度	0	0	10.2	8.1	2.1	0.0	1.2	0.4	0	1.8	2.9	0	0	0	0	0	0	8.9	0	0.2
西海市 (西彼)	被害果率(%)	0	0	0.5	29.3	5.8	0.2	6.2	6.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75.0	0	3.7
	被害度	0	0	0.1	5.1	1.0	0.0	0.9	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14.2	0	0.6
大村市	被害果率(%)	0	0	10.0	37.8	11.8	0.3	8.0	2.5	0	0.5	0	0	0	2.5	0	0	0	60.2	0	3.5
	被害度	0	0	2.1	6.7	2.2	0.0	1.2	0.4	0	0.1	0	0	0	0.5	0	0	0	10.7	0	0.5
雲仙市 (瑞穂)	被害果率(%)	0	0	21.8	60.5	4.3	3.2	4.7	6.5	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	72.0	0	8.0
	被害度	0	0	4.2	17.0	0.8	0.6	0.9	1.0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	15.7	0	1.3
佐世保市	被害果率(%)	0	0	14.8	26.0	14.2	2.5	2.7	0.8	0.2	0	0.5	0	0	0	0	0	0	77.0	0	4.5
	被害度	0	0	2.4	4.6	2.2	0.4	0.4	0.1	0.0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	16.1	0	0.8
県平均	被害果率(%)	0	0	19.7	39.4	9.9	1.3	5.9	3.7	0.0	2.2	3.3	0	0	0.5	0	0	0	66.2	0	4.1
	被害度	0	0	3.8	8.3	1.6	0.2	0.9	0.6	0.0	0.4	0.6	0	0	0.1	0	0	0	13.1	0	0.7
平年値 (H21～30 平均)	被害果率(%)	0.1	0.2	11.2	25.8	6.8	0.3	4.2	3.0	0.7	1.4	2.2	0.1	0.1	0.6	0.1	0.0	0	42.8	0.0	0.3
	被害度	0.0	0.0	3.1	6.5	1.4	0.1	0.9	0.6	0.2	0.4	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0	9.5	0.0	0.1

A: 被害が著しく目立つもの

B: 被害が目立つもの

C: 被害がやや多く見られるもの

D: 被害が散見されるもの

$$*被害度 = \frac{7A + 5B + 3C + D}{7 \times \text{調査葉(果)数}} \times 100$$